

学校経営方針

1 学校経営理念

「一人一人 一つ一つ を大切に」

- 私たちは、一人一人 一つ一つを大切にします。
- 夢と希望のあふれる学校にします。
- “心豊かな子どもたち”を育てます。

2 学校教育目標

「夢と希望に向かって努力し、他を思いやる、豊かな心をもった生徒を育む。」

3 学校教育目標達成に向けて目指す学校像、生徒像、教師像

(1) 目指す学校像

- ① 生徒の夢と心が育つ学校。
- ② 教職員が生き生きと教育活動に取り組む学校。
- ③ 保護者、地域に支えられる学校。

(2) 目指す生徒像

- ① 自主的に学習し、将来の夢に向かって何事にもあきらめずに挑戦する生徒。
- ② 進んで挨拶ができ、素直に「ありがとう」と言える生徒。
- ③ 一人一人の違いを認め、他者の心の痛みを理解し、人を差別したり、いじめたりしない生徒。

(3) 目指す教師像

- ① 学校教育目標の達成を目指し、人間関係を大切にしながら組織的に教育活動に取り組む教師。
- ② 謙虚な姿勢と課題意識をもち、教育のプロとしての指導力と資質の向上に努める教師。
- ③ 生徒、保護者の思いや願いに目を向け、好ましい人間関係づくりに努めるとともに、愛情をもって人間としての生き方を指導する教師。
- ④ 教育公務員としての自覚をもち、責任ある態度や実践力・言葉を通して、生徒・保護者・地域から信頼される教師。

4 本年度の重点目標及び具体的方策

(1) 重点1「確かな学力と体力の向上」

- ① 学力向上委員会及び各推進部（授業改善、補充学習、学習規律）を機能させ、組織的に取り組むことで学力向上を図り、一人一人の生徒の進路を保障する。
 - ・学習規律と学習意欲の向上のための「企救中5つの学習ルール（チャイム席を守る、姿勢を正す、先生の話をはきりと聞く、忘れ物をしない、学習環境を整える）」の確立
 - ・学力推進教員を有効に活用した指導方法の工夫・改善
 - ・補充学習（朝自習、小テスト、定期考査前の取組等）の充実
 - ・ひまわり学習塾、自学学習（北九州市立大学の学生を活用）等の放課後学習の充実
 - ・「企救チャレンジノート」の有効活用と各教科の課題（定期的な課題や長期休業中の課題）による家庭学習の充実
- ② 教育活動全体（保健体育の授業、行事、部活動指導等）を通して、人間の発達・成長を支える基本的要素である生徒の体力向上を図る。

- ③ 特別支援学級生徒、特別な支援を要する生徒に対して、指導及び支援の充実を図り、進路を保障する。

(2) 重点2「心の育ちの推進」

- ① 朝の挨拶運動や部活動指導等、教育活動全体を通じて、教師が率先垂範しながら挨拶を励行し、挨拶の輪を広げる。
- ② 学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実を図り、正義感や倫理観、生命尊重の心、思いやりの心を育むとともに、一人一人の生徒に夢と希望をもたせる。
- ③ 人権教育の視点に立って一人一人を大切に取る取組を実践しながら、自分と同じように他者を大切に思う心をもった生徒を育むとともに、自尊感情の育成を図る。
- ④ 自己の将来に夢をもたせ、望ましい勤労観・職業観を育成するため、キャリア教育や体験活動（福祉体験、職場体験、農泊体験等）を推進し、生徒の進路希望の実現を目指す。

(3) 重点3「安全・安心な学校づくりの推進と教育環境の整備」

- ① 学級や学年の枠を越えて組織的・機動的な生徒指導體制の確立を図るとともに、スクールカウンセラーや関係機関との連携を深め、「いじめ」の早期発見と根絶、問題事象の未然防止と早期解決、不登校問題の解消に取り組む。
- ② 生徒との望ましい人間関係づくりに努め、受容的・共感的な生徒理解の視点に立った学年、学級づくりを目指す。
- ③ 北九州市防災教育プログラム等を有効に活用した防災教育を推進することにより、生徒・職員への危機管理意識を高め、命の大切さを認識させる。
- ④ 「環境が人を育てる」の言葉を大切に、安全で効果的な教育環境の整備と、文化的で魅力ある学習環境の創意・工夫に努め、公共物を大切にする心や美しい環境を愛する心を育成する。

(4) 重点4「小中一貫・連携教育と信頼される学校づくりの推進」

- ① 小中一貫連携教育を推進し、小学校との連携を密に図りながら児童生徒の実態を把握して、義務教育9年間を通じた連続性、系統性のある学習指導や生徒指導を行う。
 - ・教員相互の授業参観及び情報交換、合同研修会の実施
 - ・中学校体験授業の実施
- ② 保護者や地域、関係機関と密な連携を図りながら良好な関係を構築するとともに、「親切・丁寧」な挨拶、対応を心掛ける。
- ③ 学校行事（体育大会、企救中フェスティバル等）やPTA行事、地域行事等において、保護者や地域との連携を促進する。また、学校の情報を積極的に発信する。

5 重点目標達成のために大切にしていきたいこと

- 互いの立場を尊重し、仕事がやりやすい職場の雰囲気をつくるとともに、報告・連絡・相談を大切にしながら共通理解・共通実践を進め、チーム企救中を目指す。
- 教職員としての資質向上のために効果的な校内研修を行い、教師力向上を目指す。
- 教育公務員としての自覚をもち、綱紀粛正に努める。

生徒・教職員・保護者・地域が、「豊かな心」と「思いやりの心」をもち、挨拶の声と、“ありがとう”の言葉が飛び交う学校づくりを目指す。